

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 26 年度第 5 回 基本調査委員会 議事概要

I. 日時：平成 26 年 11 月 7 日（金）15：00 から 17：00

II. 場所：私情協事務局

III. 出席者：高橋理事、真鍋委員長、尾崎委員、石井委員
井端事務局長、森下主幹

IV. 資料

- ① 平成 26 年度私立大学情報環境基本調査 調査票（案）
- ② 平成 26 年度私立大学情報環境基本調査のスケジュール（案）
- 参考 1 平成 23 年度私立大学情報環境基本調査 調査票
- 参考 2 平成 23 年度私立大学情報環境白書

V. 議事内容

1. 平成 26 年度私立大学情報環境基本調査の調査項目と選択肢等の検討について

資料①「平成 26 年度私立大学情報環境基本調査 調査票（案）」をもとに調査票の内容について検討を行い表現等の修正を行った。

主な修正点は以下の通り

(1) 調査の目的

一部表現を修正し、以下の通りとした。

本協会では、私立大学が教育活動の基盤環境として備えるべき情報環境の整備充実を促進するため、情報環境の整備状況及び将来計画について振り返り、改善に向けて取り組むべき課題を整理・認識する調査を 3 年間隔で実施しています。とりわけ今回の調査では、教育の質的転換及び全学的教学マネジメントの観点から情報環境の内容及び利活用を自己点検・評価することで、望ましい教育・学修環境づくりを目指した改善に取り組んでいただくことが可能になると考えております。集計・分析結果は、「平成 26 年度私立大学情報環境白書」として平成 27 年 5 月の総会で報告するとともに、大学及び文部科学省、関係機関に情報環境の整備充実に向けて理解の促進を働きかけます。

お手数を煩わせ誠に恐縮ですが、全学的な立場で関係部署とお打ち合わせいただき、平成 27 年 1 月 15 日迄に回答いただきますようお願い申し上げます。

(2) 調査項目

最終的な表現を以下のように修正した。

1. 全学的に教育課程の体系性を可視化する ICT の利活用

③を大学が示す履修モデルと学生の履修計画の確認を支援するシミュレーションに修正した。

※ 上記で平成 26 年度に①～⑤を回答の場合、可視化するために ICT を利活用している内容を記入してください。とし以下同様に修正する。

2. 教育活動に対する危機意識を学内で共有するための情報掲載

教育活動に対する危機意識を教職員が共有するために学内向けの Web サイトに掲載している内容に修正。選択肢⑧を危機意識を共有する情報を掲載していない に修正した。

3. 教員の授業や指導を自己点検・評価するための e ポートフォリオ（ティーチング・ポートフォリオ）の導入に修正。

選択肢を「① 全学で導入している ②一部の学部又は学科で導入している ③大学として導入を計画又は検討中 ④ 導入していない」とした。

4. ICT を活用して教員が相互にシラバスの点検を行う仕組みに修正し、上記同様に選択肢を修正した。以下の設問は同様に修正する。

「①全学で仕組みができていない ②一部の学部又は学科で仕組みができていない ③大学として仕組みを計画又は検討中 ④仕組みができていない」

5. eラーニングの実施状況

※ ここでのeラーニングとは、学生が理解度に応じて学修を進め、自己診断を行い、その結果について教員の指導を適時受ける学びのスタイルで、学修管理システム（LMS）等を用いた教育を指します。を追加する。

※ ここでの反転授業とは、あらかじめ授業を映像などで受講した後に、対面式の授業でディスカッションなどを行う授業形態をさします。を追加する。

選択肢③を一部の科目で実施しているにする。

6. コンテンツ・アーカイブ化の整備状況

(2) 教育コンテンツ・アーカイブ化の内容についての選択肢④を学修成果（ポートフォリオ等）に修正

III. FD 支援の点検

1. はICTを用いて教育改善計画を促進する取組みに修正

2. はアクティブ・ラーニングを普及するための取組みとし、※ ここでのアクティブ・ラーニングとは、・・・と説明を入れる。

利用→活用に表現を改める。

IV. 情報環境として備えるべき施設・設備、セキュリティの点検

5. クラウドの利用状況では、災害時などの業務継続性の対策、情報環境の利便性向上を入れる。

7. ラーニング・コモンズと情報環境の整備では、ラーニング・コモンズのICT環境として整備しているものに「⑥クリッカー ⑦プロジェクター等のAV機器 ⑧デジタルペーパー」を入れる。

V. 大学機関としての活動を調査・分析・改善提案するIR（インスティテュショナル・リサーチ）取組みの点検では、導入状況を「①導入している ②一部導入している ③計画又は検討中 ④導入していない」にする。

(2) IR組織の位置づけでは、独立組織、委員会組織、既存部門に設置、その他とし、担当者の人員構成等を記入するようにする。等の修正を行った。

2. 平成26年度私立大学情報環境基本調査の調査計画について

資料② 平成26年度私立大学情報環境基本調査のスケジュール（案）で了承された。

3. 今後の進め方

検討し修正した「平成26年度私立大学情報環境基本調査の基本方針（案）」をもとに事務局で調査票（案）を作成し、メールで確認、修正を行い12月1日に調査依頼を発送する。

4. 次回の日程

平成27年2月を予定し、別途日程調整する。

以上